

4-3 伊豆半島付近の地震活動（1991年5月-10月）

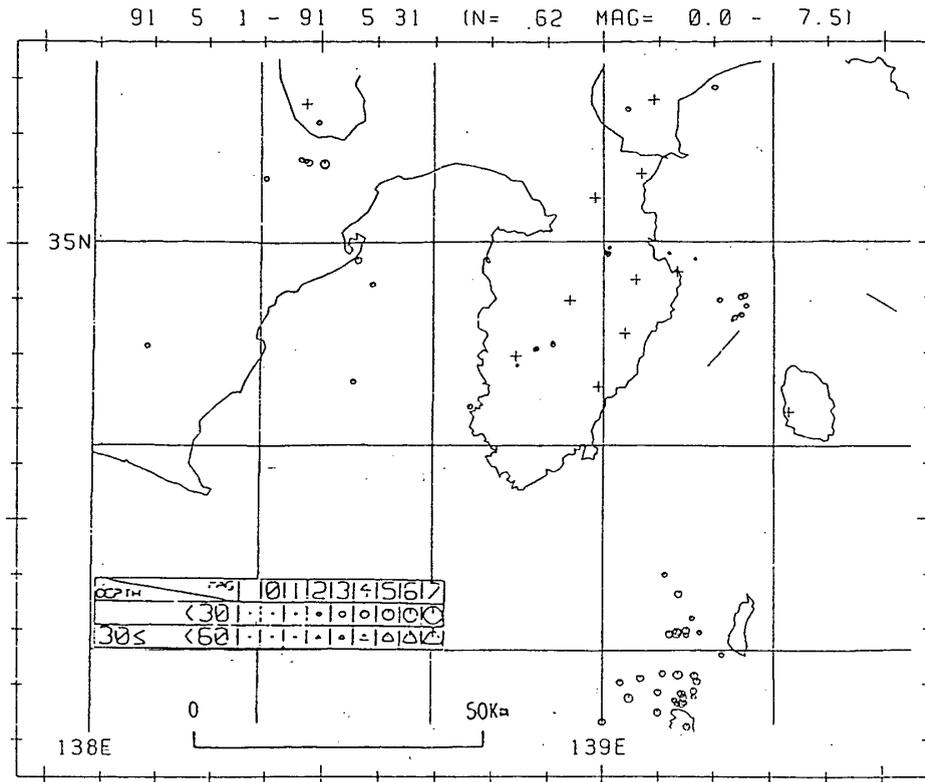
Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (May - October, 1991)

東京大学地震研究所 地震予知移動観測室
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

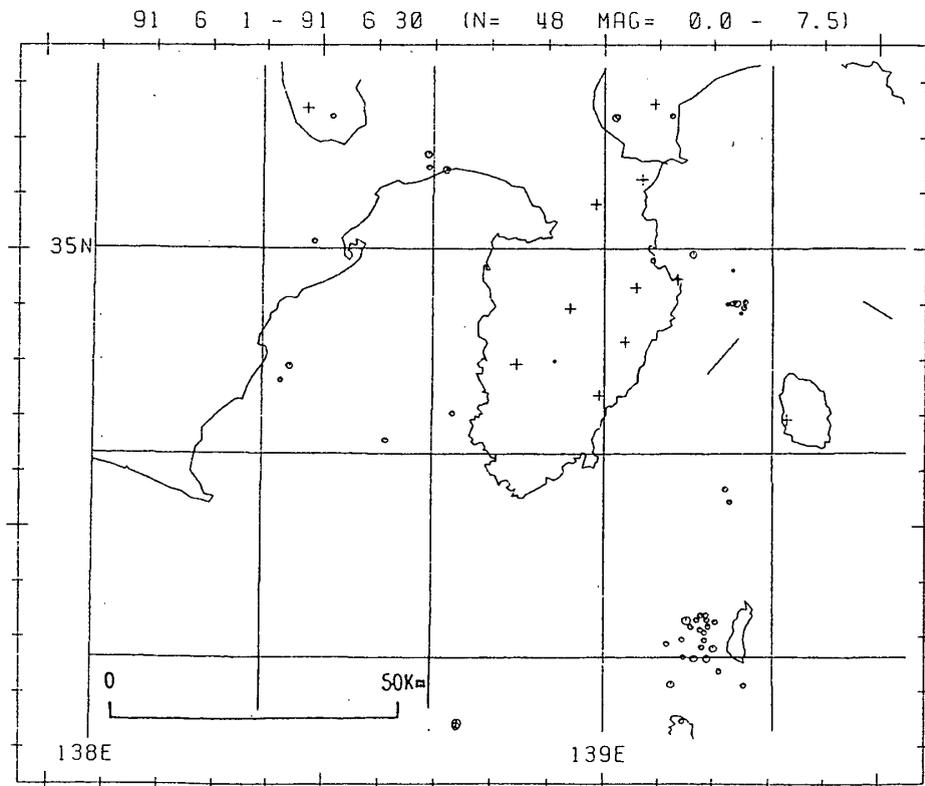
第1図a) - f) に1991年5月-10月の伊豆半島付近の地震活動を示す。

この期間は新島から神津島付近にかけての活動が活発であった。1991年4月10日-11日, 23日-27日の神津島付近の群発地震の後5月13日-16日で再び神津島付近で群発活動が発生した。5月23日には新島西岸沖で群発地震が発生し, 5月26日-29日に神津島付近でM4.9の地震を最大とする群発地震が発生した。6月20日-27日, 新島西岸沖で最大M3.2の群発地震が発生した。8月20日-22日, 伊豆半島東方沖(川奈崎沖)で最大M2.4の群発地震が発生した。この活動に先行するように, 伊豆大島西岸沖で8月6日-16日に最大M2.3の群発地震が発生した。8月27日, 新島南岸沖でM3.3の地震が発生した。9月3日-19日に, 石廊崎と新島の中間の神子元海丘付近で最大M2.3の群発地震が発生した。なお9月8日, 伊豆半島東方沖でM3.1の地震が発生, 19日, 式根島付近でM3.6の地震が発生, 伊豆東方沖で28日, 29日にM3.6, M3.0の地震が発生した。10月4日-7日, 新島西岸沖と新島南岸沖で群発地震が発生した。10月24日-27日には神津島北岸沖で群発地震が発生した。10月18日-20日, 大室ダツ付近で群発地震が発生した。最大地震は18日19時57分, M3.9であった。

第2図に伊豆半島東方沖, 1991年8月20日-23日の群発地震活動の震央分布と震源の深さ分布を示す。第3図に宇佐美観測点における群発地震の時間別頻度を示す。第4図に新島および神津島付近における1991年10月1日-11月8日の地震活動を示す。



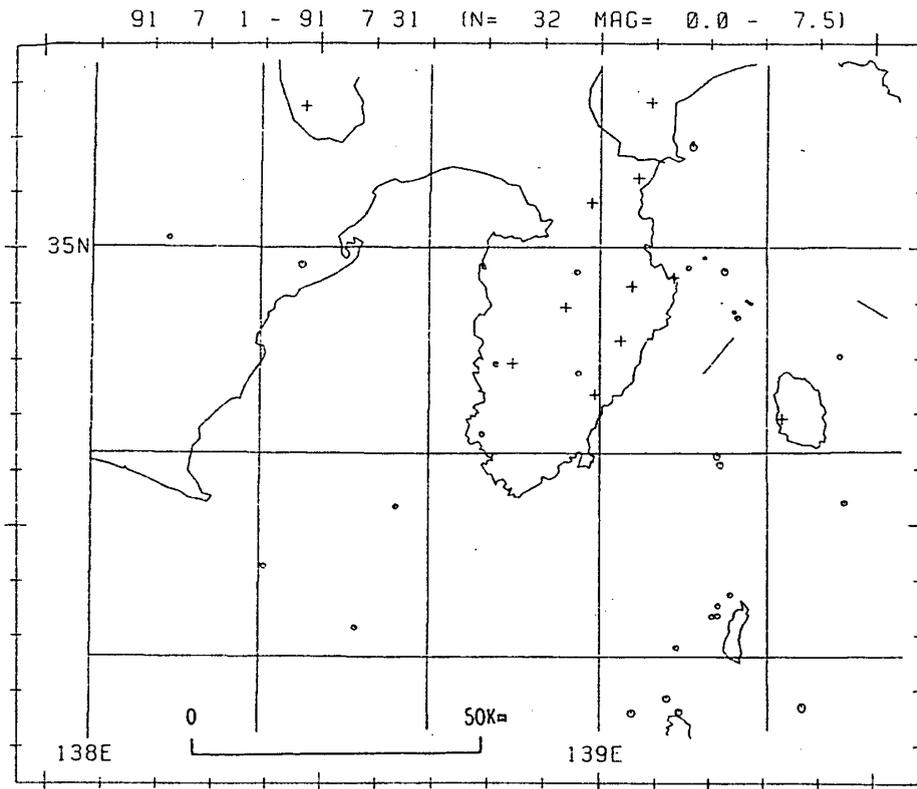
a)



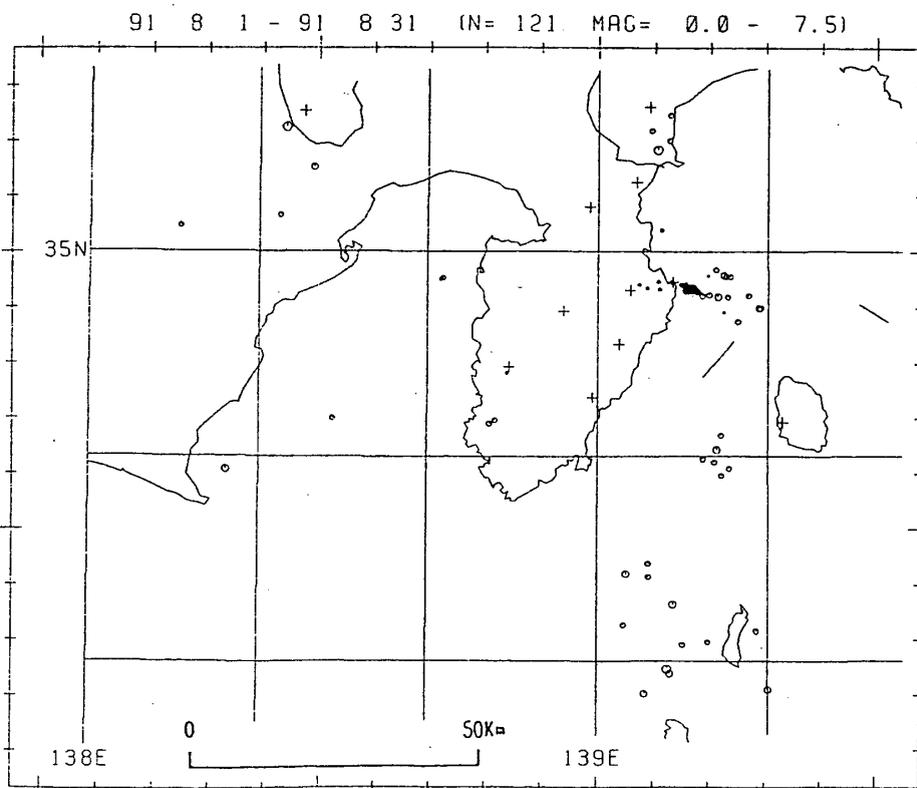
b)

第1図 a) - f) 1991年5月-10月の毎月の震央分布

Fig. 1 a)-f) Epicentral distributions of the each month in the period from May to October, 1991.



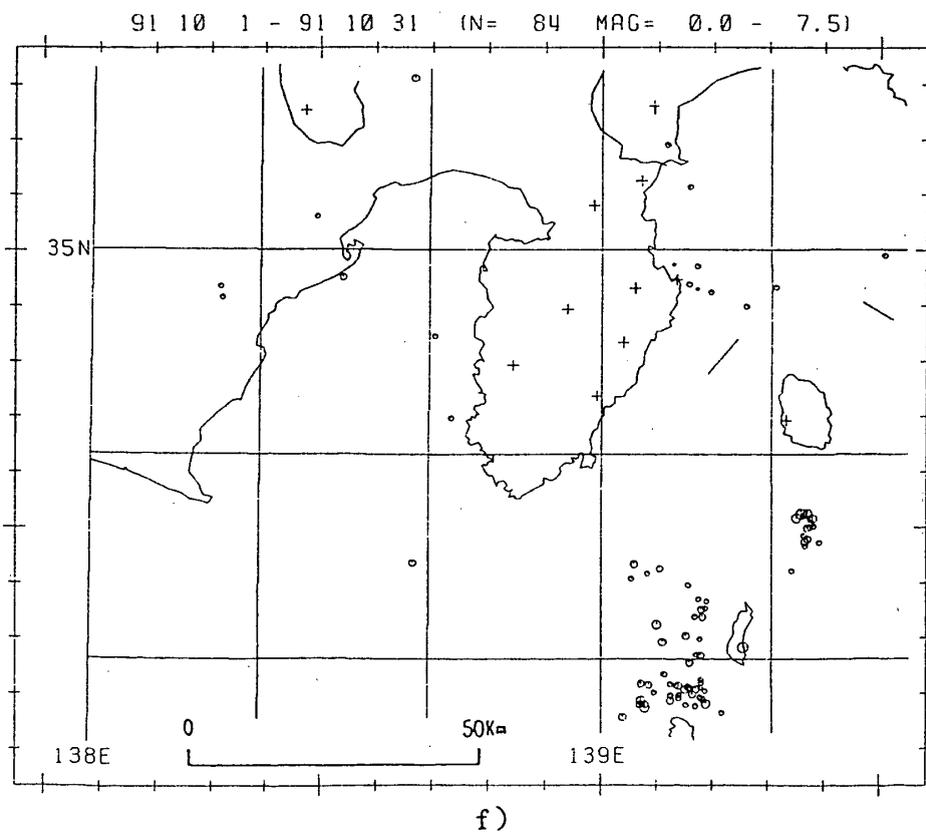
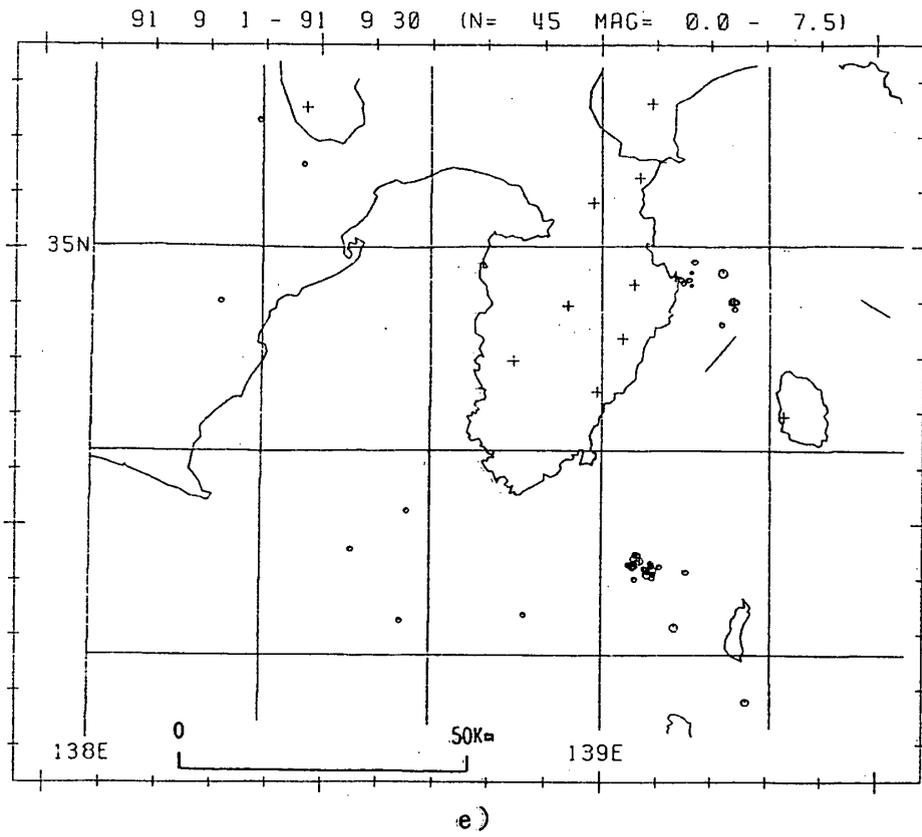
c)



d)

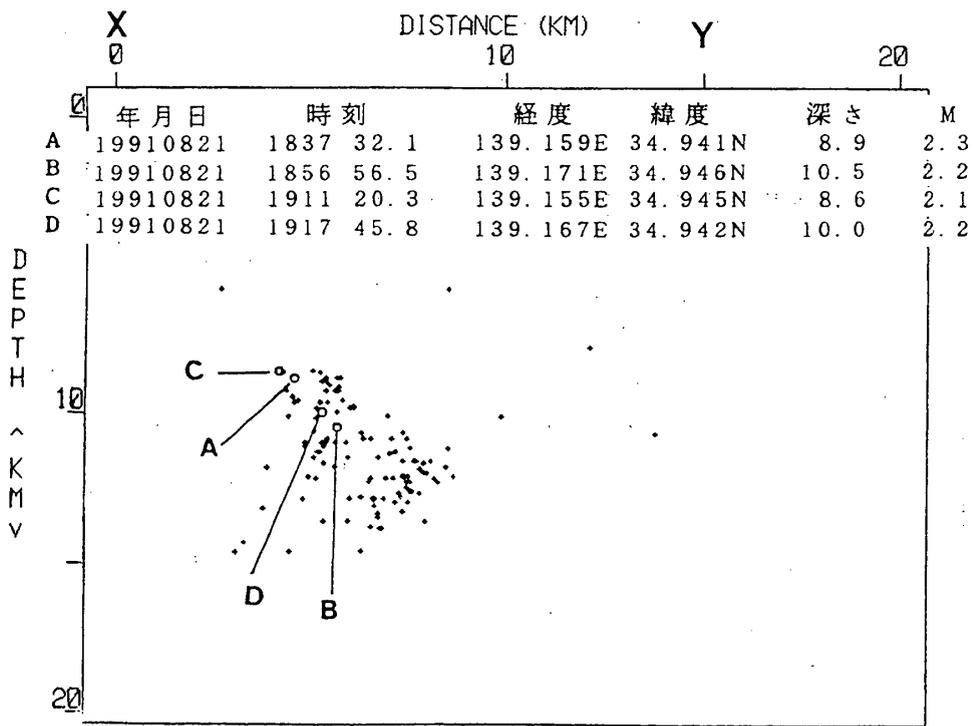
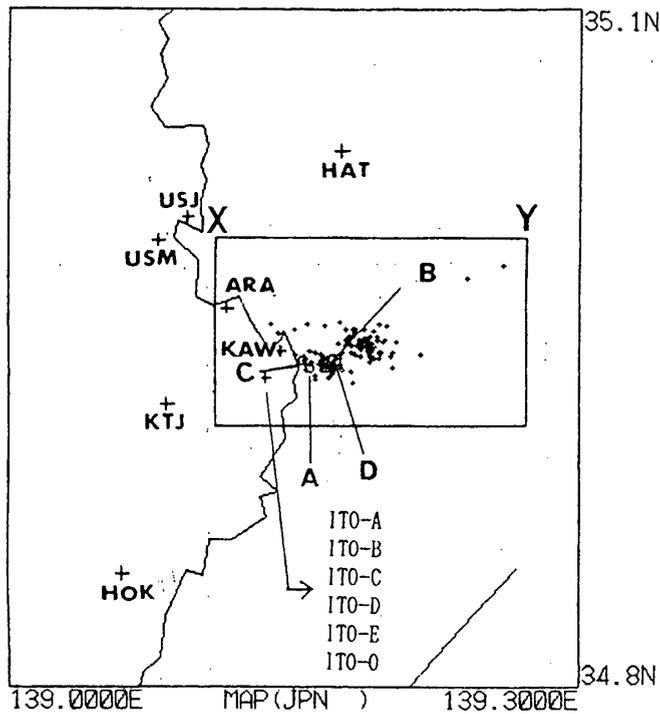
第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)



第1図 つづき

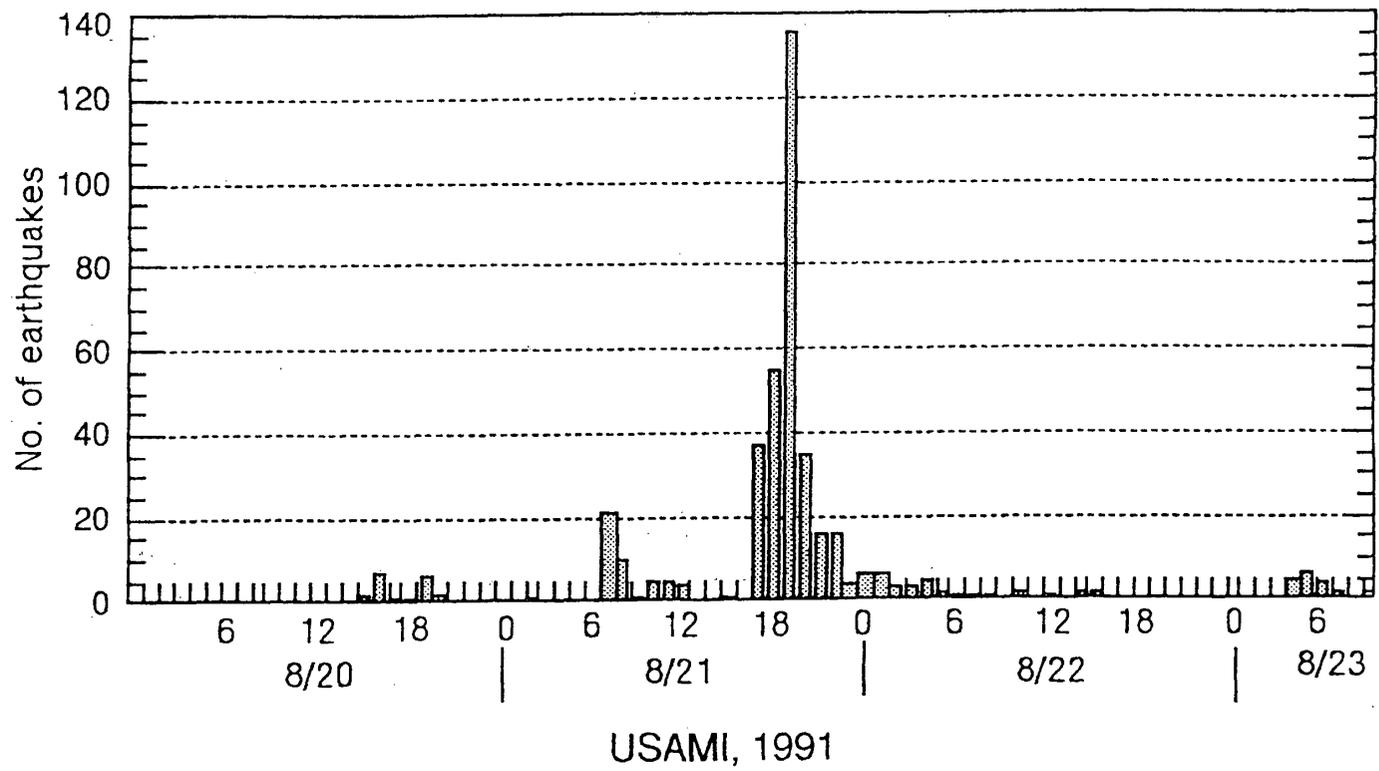
Fig. 1 (Continued)



1991年8月20日～8月23日の伊豆東方沖震源分布図

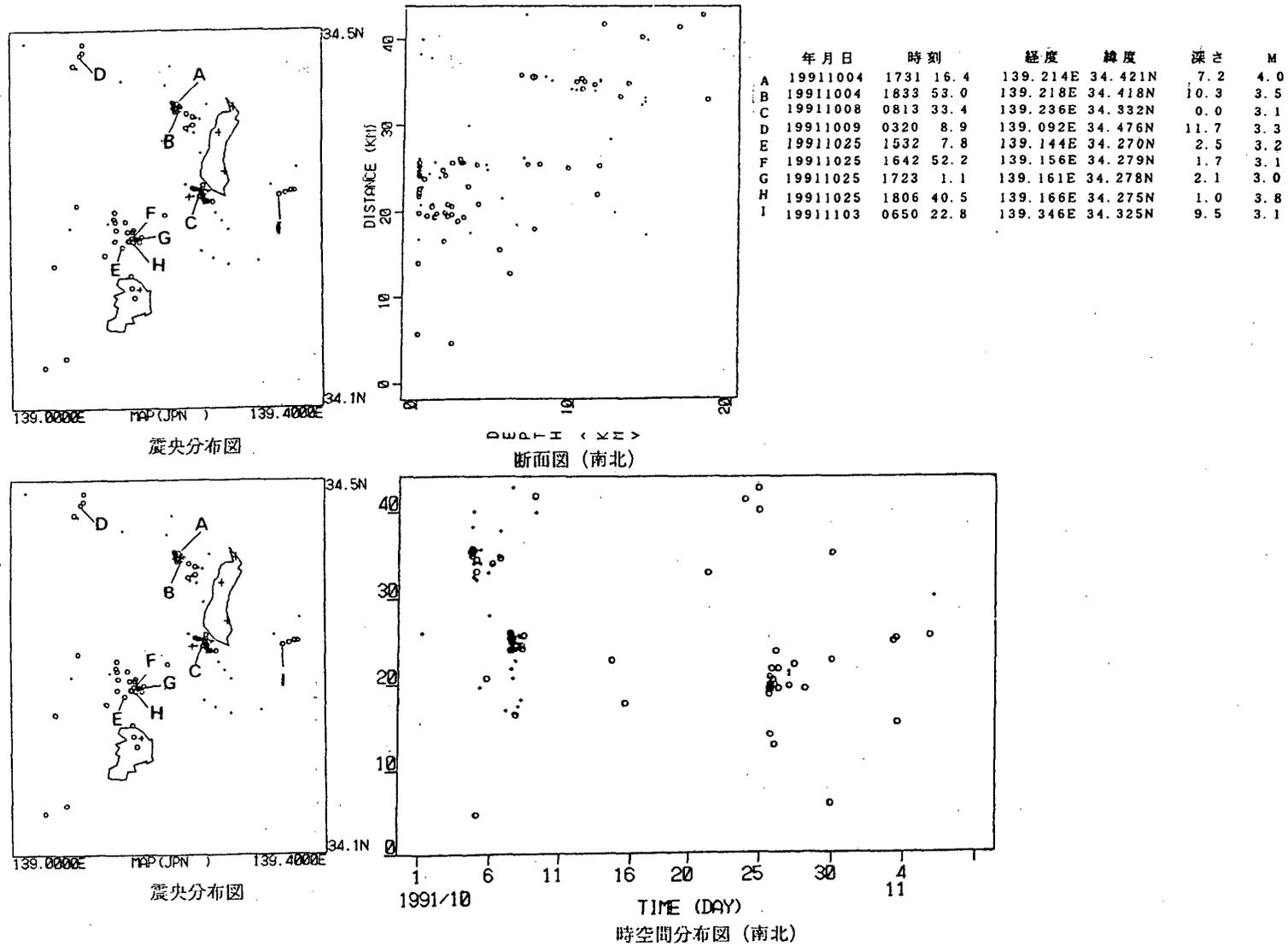
第2図 伊豆半島東方沖における1991年8月20日-23日の群発地震の震源分布

Fig. 2 Hypocentral distribution of the swarm activity off east coast of Izu Peninsula in the period from August 20-23, 1991.



第3図 宇佐美観測点における群発地震の時間別頻度

Fig. 3 Hourly number of earthquakes observed at Usami.



第4図 新島および神津島付近における1991年10月1日-11月8日の震源分布と時空間系列
 Fig. 4 Hypocentral distribution in the vicinity of Niijima and Kouzushima in the period from October 1 to November 8, 1991.